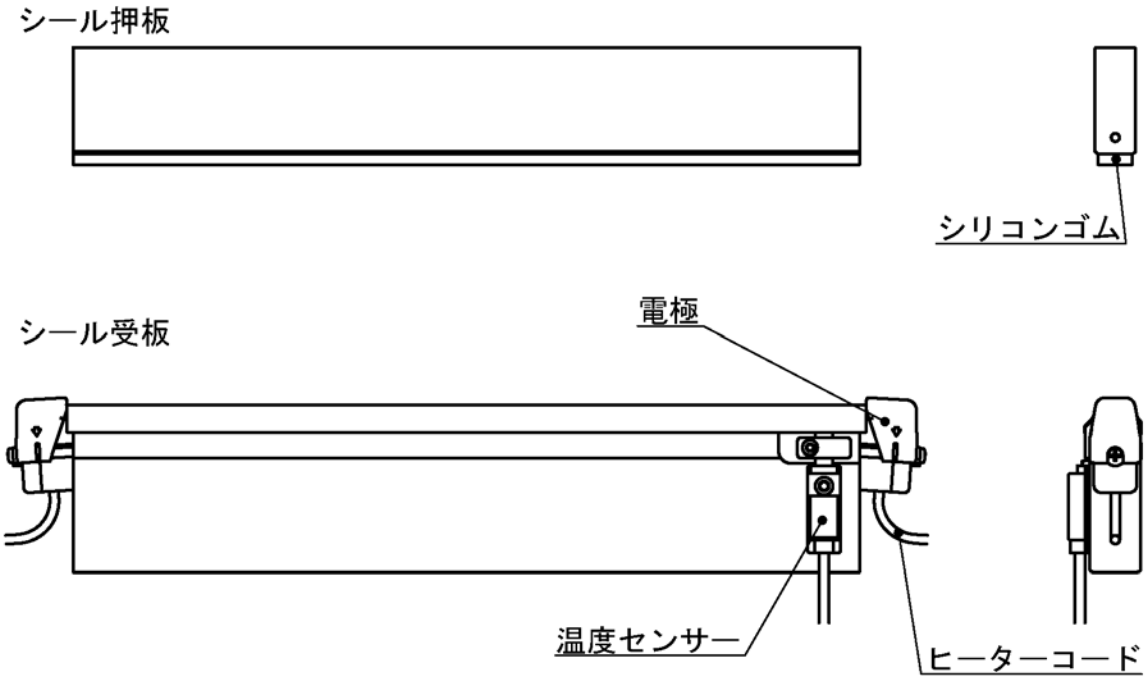
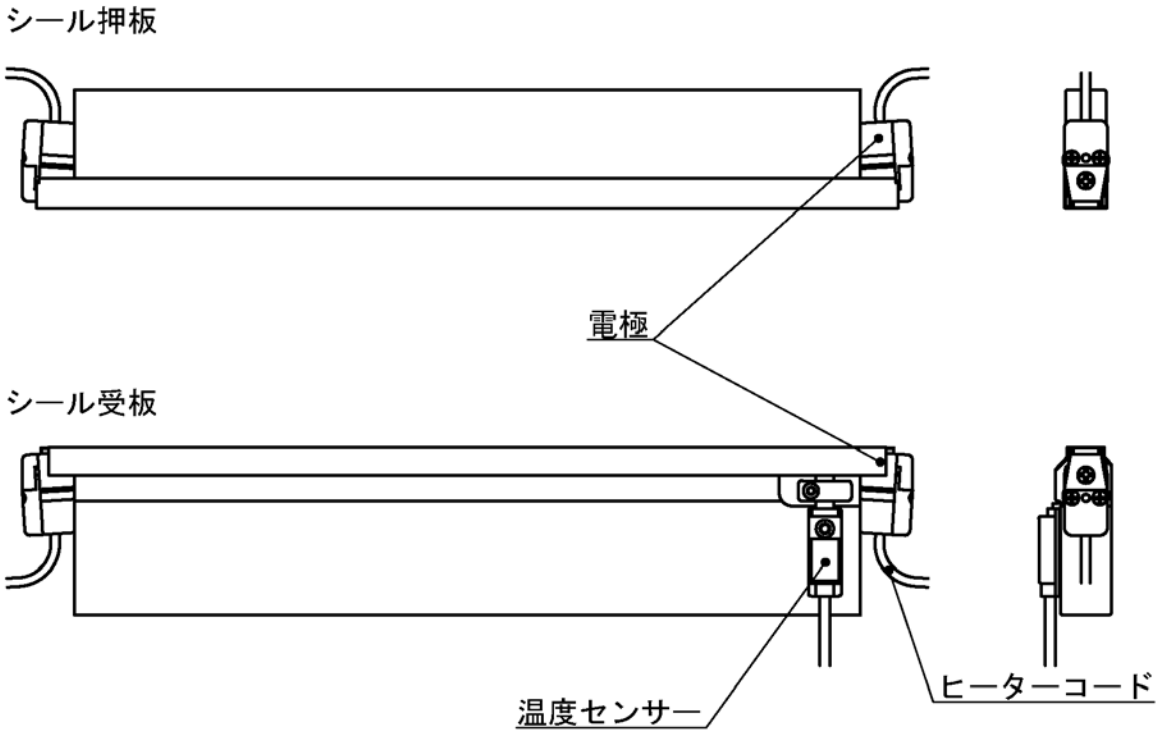
５ 各部の名称とはたらき

シールバー

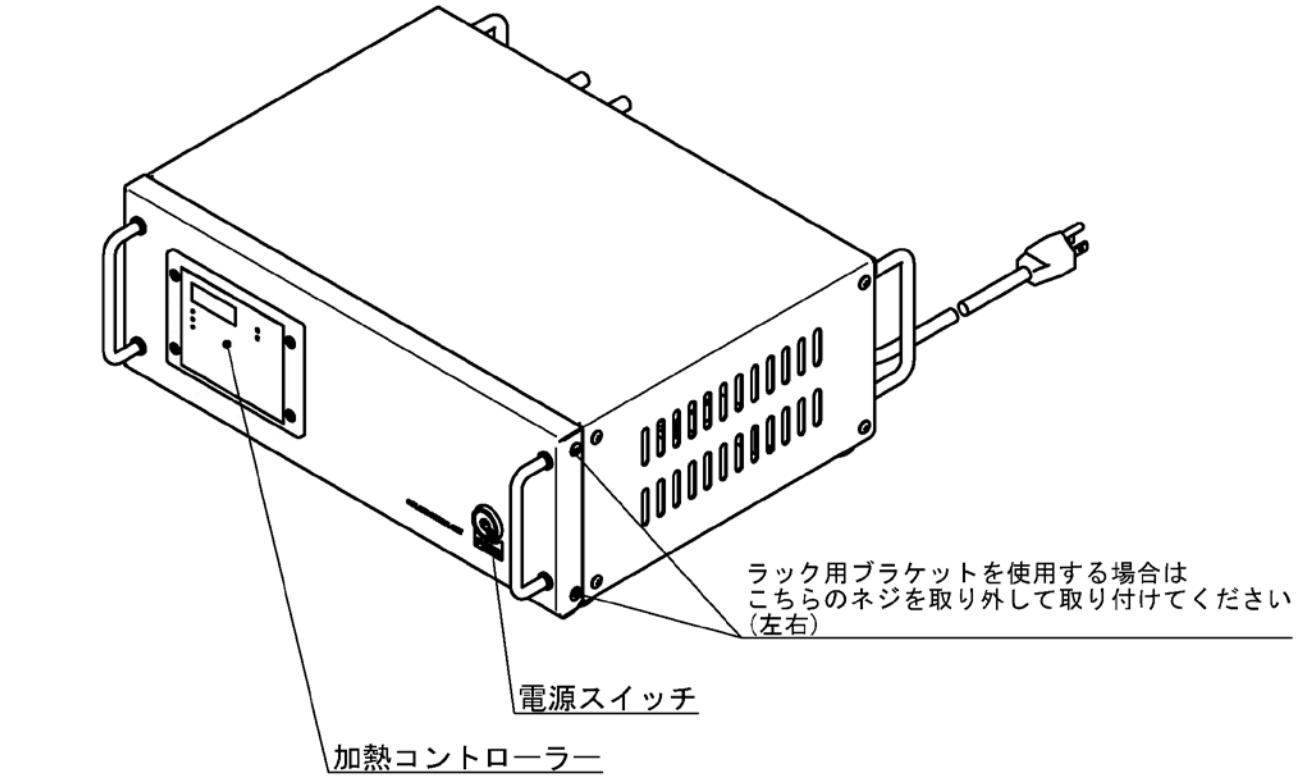
■片側加熱方式

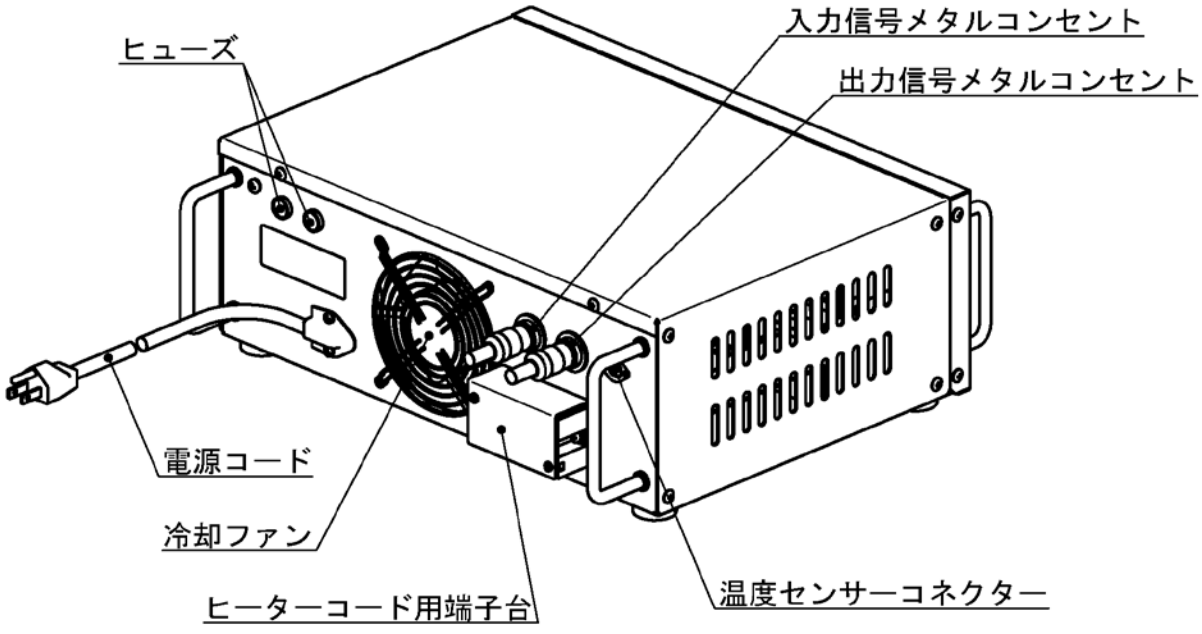


■上下加熱方式



制御ユニットケース


ラック用ブラケットを使用する場合は
こちらのネジを取り外して取り付けてください
(左右)
電源スイッチ
加熱コントローラー


入力信号メタルコンセント
出力信号メタルコンセント
ヒューズ
電源コード
冷却ファン
ヒーターコード用端子台
温度センサーコネクター

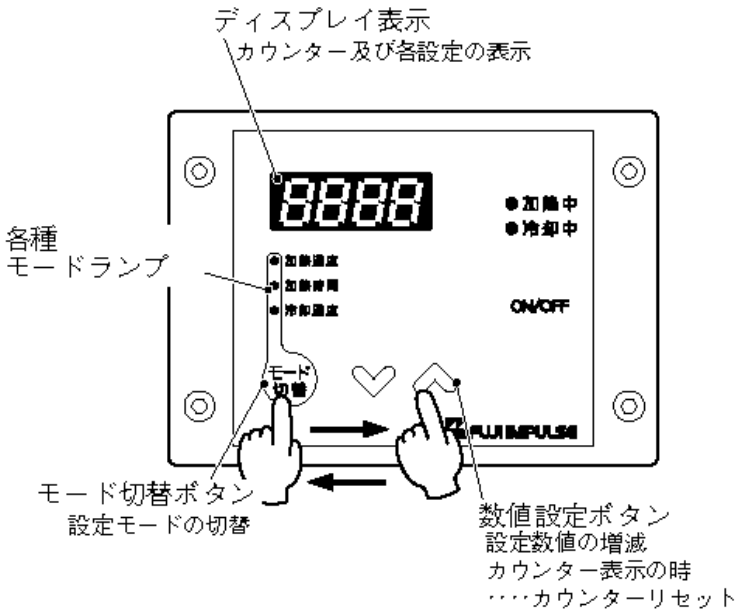
コントロールユニット

■ コントロールユニットでシール条件の設定

・コントロールユニットで加熱温度・加熱時間（加熱温度保持時間）・冷却温度・運転間隔時間を設定します。袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、異なる袋（フィルム）を使用される時はその都度設定してください。

・モード切替ボタンを押すとカウンター数→加熱温度→加熱時間（加熱温度保持時間）→冷却温度→運転間隔時間の順にディスプレイ表示に呼び出せます。

・呼び出されたモードはランプが点灯します。どのモードのランプも点灯していない時はカウンターモードになっている時です。



● 加熱温度の設定

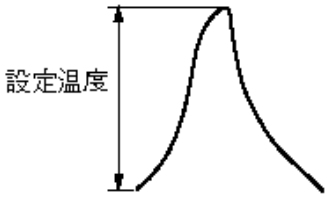
・「加熱温度」のモードにして、▲、▼キーで数値を加減して設定します。[60～250℃の範囲]

・ 使用される包装フィルム（袋）の材質により適切な溶融温度は異なります。

・ シールができる最低の温度に設定してください。

作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

加熱時間（加熱温度保持時間）を設定しない場合の加熱温度測定グラフの軌跡

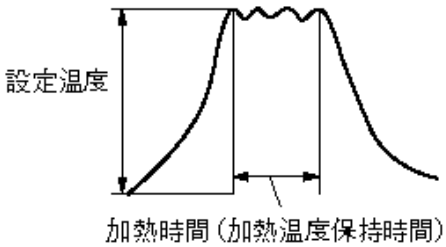


● 加熱時間（加熱温度保持時間）の設定

・「加熱時間（加熱温度保持時間）」のモードにして、▲、▼キーで数値を加減して設定します。[0.0～5.0 秒の範囲]

・温度制御における加熱時間（加熱温度保持時間）とは設定された温度を維持させる時間のことで、通常は、加熱時間（加熱温度保持時間）を設定しなくても（加熱時間（加熱温度保持時間）を 0.0 秒にしても）シールはできます。包装フィルム（袋）に厚みがあり、加熱温度を上げてもシールができない場合やシールができてもフィルムがダメージを受けている場合のみ加熱時間（加熱温度保持時間）を設定する効果が期待できます。

加熱時間（加熱温度保持時間）を設定した場合の加熱温度測定グラフの軌跡

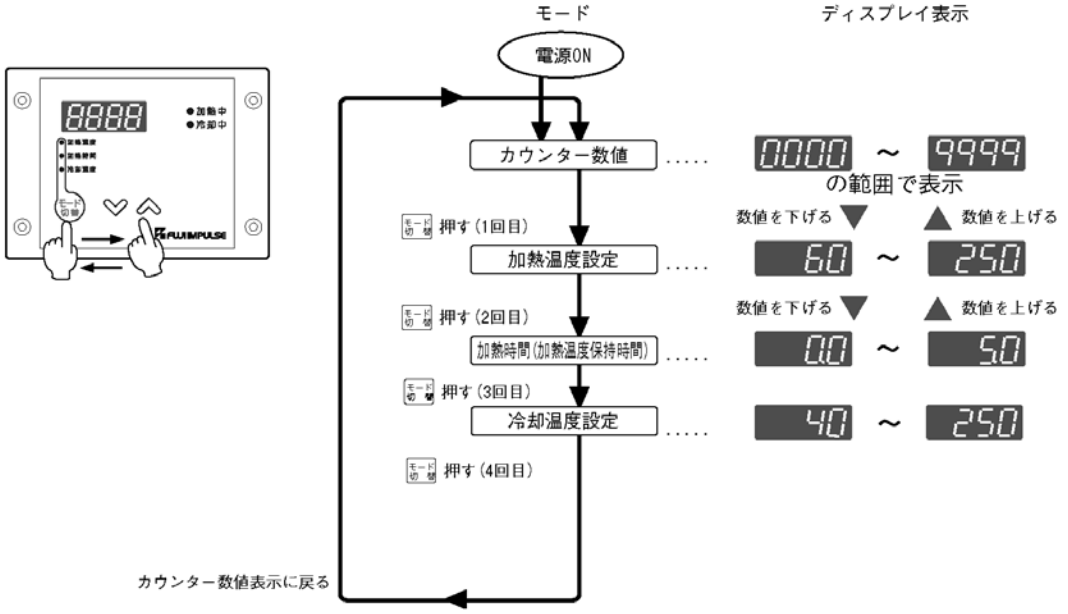


● 冷却温度の設定

・「加熱温度」のモードにして、▲、▼キーで数値を加減して設定します。[40～250℃の範囲]

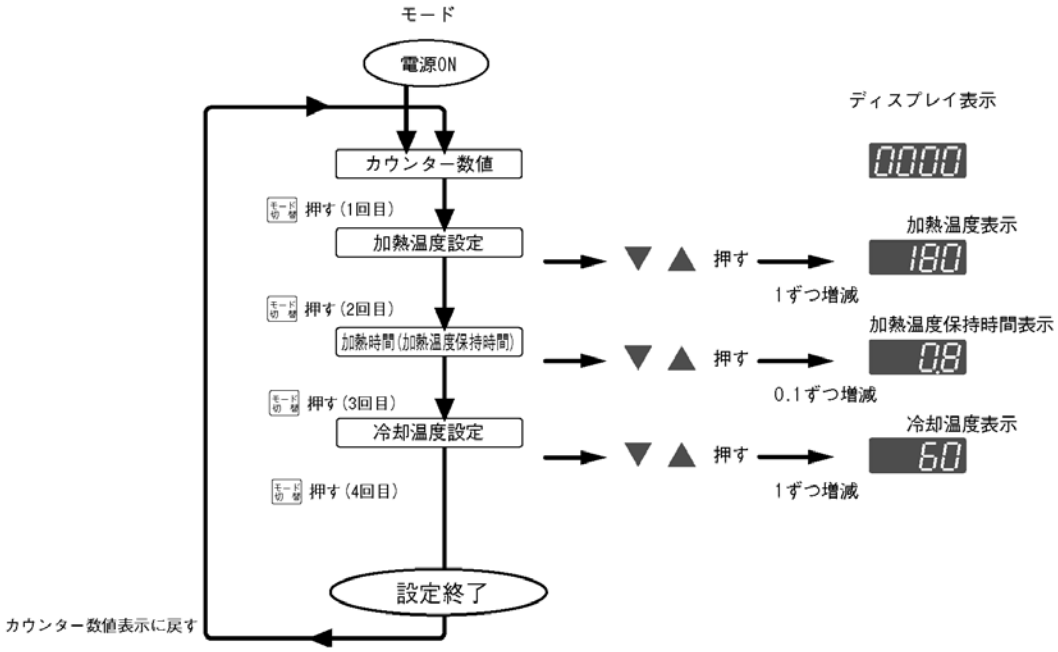
・冷却時間を十分に取れるように設定してください。

各モードの設定手順



各モードの設定手順例

設定数値例：加熱温度 180℃　加熱時間（加熱温度保持時間）0.8 秒　冷却温度 60℃　運転間隔時間 2.4 秒



６ 準 備

6-1 シールバーと制御ユニットケースの接続

1 制御ユニットケース背面にあるヒーター用端子台に、シールバー電極からのヒーターコードを接続してください。

2 制御ユニットケース背面にある温度センサーコネクターに、シールバーに取り付けられている温度センサーのコードを差し込んで接続してください。

電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行なうと感電する恐れがあります。

6-2 電源の接続

電源は必ず「仕様」に記載している電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続してください。電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。

「電気配線工事は電力会社の認定工事店、または第３種接地工事の資格者によって行ってください」

消費電力は製品によって異なります。コンセントの容量が製品の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、機械が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

製品に組込まれている標準のプラグの取替え配線をする場合、接続に誤りのないことを確かめてください。またアース線が所定の端子に接続されていない場合、電源側で短絡（ショート）、漏電します。

6-3 配線を行う

シールバー・制御ユニットケースはシール装置の一部ですので、お客様でシール装置と制御ユニットケース間の配線を行う必要があります。

配線の方法は、「電気回路図」を参照し、正しい配線を行ってください。

尚、入出力信号のメタルコンセントは制御ユニットケース背面に取りつけてあります。

７ 正しい使い方

シール面に袋をセットする時などは、指を挟まないように十分注意してください。

シール中は、ヒーター、電極が熱くなっていますので、手を触れると火傷をする恐れがあります。触らないように十分注意してください。

準備ができましたら、下記の手順により動かしてください。

1	**電源スイッチ　ＯＮ**	⇒	コントローラーのディスプレイが点灯します。
2	**加熱温度、加熱保持時間、冷却温度を設定**	⇒	「５ 各部の名称とはたらき コントロールユニット」をご覧ください。
3	**シール面に袋をセットする**		
4	**ユニットケースにスタート信号を入力する**	⇒	ユニットケース後部のメタルコンセントに入力 「配線図」をご覧ください。
5	**シール終了**	⇒	
6	**ユニットケースより終了信号が出力される**	⇒	ユニットケース後部のメタルコンセントより出力 「配線図」をご覧ください。

終了時は　電源スイッチをＯＦＦにしてください。

●シールの仕上がり状態について

インパルス方式のシーラーは、シール条件として加熱、冷却、圧力が重要であり、シールの良否に大きく左右します。また、異なる包材、内容物に於いて、加熱時間・冷却時間・加圧力の最適な設定が異なりますのでご注意ください。

異なる包材、内容物における最適なシール状態は、お客様の責任において確認してください。
ガゼット袋の場合、厚みが場所によって異なりますので、密封されているかどうか必ず確認してください。
【例：水中で袋を押し、気泡が出ないか確かめるなど】